



山田 徹 Toru Yamada

鹿島建設株式会社
土木管理本部 土木工務部
PPP推進室

分野

上下水道、PPP/PFI総論

訪問可能地域

全国

相談手法

電話・メール・WEB

経歴

- 2003 鹿島建設（中途入社）
- 2012 PPP/PFI手法事業に組み
- 2019 鹿島の全国のPPP案件対応
- 2021 PPP推進室立上げ、室長就任
全国のPPP案件に対応

PPP/PFI事業導入を検討されている方へのメッセージ

2012年からPPP/PFI手法による上下水道事業・工業団地事業等に係わっています。実務を通じて、PPP/PFI手法には、深い理解を有しています。
官連携手法では、官側の論理だけでなく、民間側の論理への理解が必要です。民間側のコンソーシアムも同様で、異文化への理解とリスペクトが重要です。
官民が力を合わせてこの国難とも言える、インフラ施設更新の推進に微力ながら支援させて頂きたいと願っております。

共有できる知識・経験

- ◆VFM=46%のPFI事業のSPC総括代理人として、自治体（岡崎市）と協力して、要求水準書を満足する浄水場の立ち上げ～運転・維持管理を継続しています。岡崎様からは、市で行っている他事業へのアドバイスを求められています。
- ◆上下水道施設更新を適正に行うには、ゼネコンも水処理への理解が必要⇒技術士（上下水道部門、建設部門）、水道浄水施設管理技士1級、事業を俯瞰的に判断することが必要⇒技術士（総合技術監理部門・上下水道）の資格を有しています。

活動実績【中心的な役割を担ったPPP/PFI事業等】

【その他】

- ◆岡崎市男川浄水場更新事業 SPC総括代理人
- ◆岡崎市阿知和工業団地 プロジェクトマネージャー
- ◆秋田市仁井田浄水場（入手）、大津市真野浄水場（不調）、山口県宇部市芝中ポンプ場（途中撤退）、愛知県豊橋浄水場（途中撤退）等への取組みを通じ、内閣府、国交省、厚労省、経産省と対話を実施。官民の課題解決に取り組んでいます。

【学会等活動】

日本技術士会 上下水道部門・統括本部 幹事
生命環境系部会・中部本部 幹事
日本公益事業学会 会員

連絡先

メール toyamada@kajima.com
電話 080-2117-9474

等

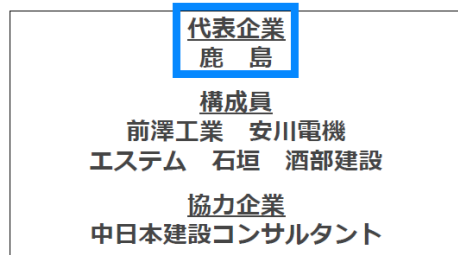
男川浄水場更新事業の概要・スキーム図

- ・2012年4月 公告
- ・2013年1月 事業契約
- 設計・建設期間 2013年2月～2018年1月
- 維持管理・運営期間 2017年12月～2031年11月

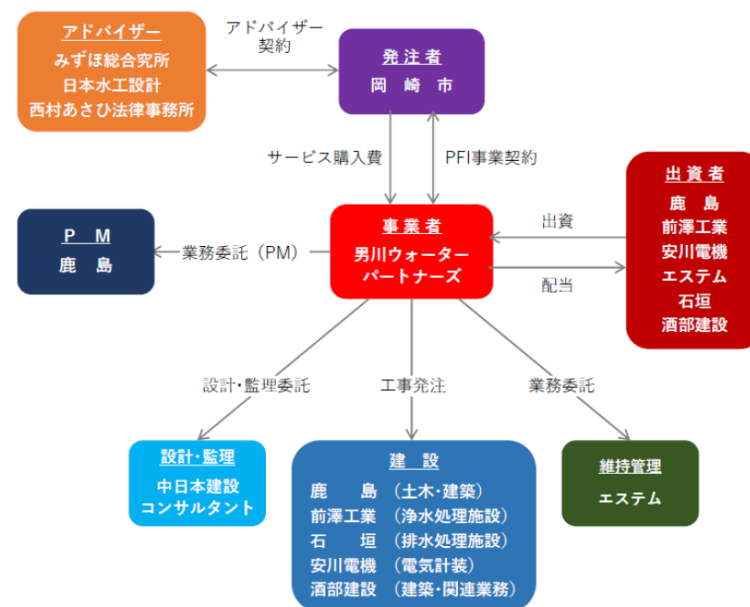
◆事業の特徴

- ◆過当競争の結果、VFM=46%
- 黎明期の事業の為、官民共に知見が無くトラブル続出
- 運転切替後もトラブル続出⇒SPCが中心となり解決

■コンソーシアム



■事業スキーム



過去の講演・相談実績等

- ◆これまで民間側の立場から、PPP/PFI手法による上下水道施設更新に取り組んで来ています。
不具合を有する事業は、官側の論理が優先傾向にあり、事業推進に必要な俯瞰的な視点での課題解決が課題です。
官民それぞれの立場からお互いの事情を理解し、リスペクトすることが重要な事を体験してきています。
- ◆こうした経験から、岡崎市から上手くいっていない個別事案の統括管理業務に対しアドバイスを実施。
【中央官庁、自治体への提言内容】
- ◆適正な事業費確保 未着手の建設投資15兆円の中、インフラ施設更新を計画的に進めるための課題解決策
- ◆物価変動リスク 地政学的リスクやトランプ関税の中、上記同様の課題解決策
- ◆契約違約金等の応札リスク 民間への過大なリスクにより経営者層が敬遠
- ◆適正な設計期間の確保 W-PPPで多忙を極めるコンサルタント、工程遅延が顕著化
- ◆発注量増加と人手不足によるプロジェクト遅延 民間の経営資源も限定的